

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 新しい道徳 (東京書籍)	
教育基本法、 学校教育法の 下の小学校学習 指導要領の教科 の目標との関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○3つのテーマ①主体的に考え、対話を通して深い学びへ導く ②いじめに気づく、いじめを許さない ③人間関係を築く を掲げ、道徳的価値についての理解を深める工夫がなされている。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <p>○問題解決的な学習に対応した教材「問題を見つけて考える」を3年生以上に掲載している。「考えるステップ」欄があり、話し合いの手引きとなっている。内容項目はA～Dのすべての視点から取り上げられている。</p> <p>○中心発問および振り返りの発問が、すべての読み物教材に明示されており自己の生き方についての考えを深める工夫がされている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○人生や生活に生きて働く道徳性を育成するために、2年生から6年生において学習の手順を4ステップ(1気づく 2考え話し合う 3ふりかえる、見つめる 4生かす)で示し、道徳教育・道徳科における資質・能力の育成に向けた学習を進めていくことができるよう工夫されている。</p>	
特色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○情報モラルの教材として、全学年学習できるように構成されている。</p> <p>○安全、防災教育に資する教材を取り上げ、1年生では楽しく学べるようイラストだけで構成し、安全意識を高める教材があり、5年生では、東日本大震災で被災した高田松原で1本だけ生き残った「奇跡の一本松」の自然の偉大さ、生命の希望を感じることができる教材がある。</p> <p>○「いじめをしない、許さない心」を育てる教材として「とびらページ」「間接的教材」「直接的教材」を配置しユニット式で構成されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○学習指導要領の4つの視点(A～D)と内容項目をマークや学習のテーマなど児童にも分かる表現で示し、見通しを持った学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○年度当初のオリエンテーションページと、まとまりごとに自分を見つめる「学習の振り返り」ページがあり、見通しを持った学習で主体的な学びを実現できる工夫がされている。</p> <p>○児童同士の心の交流を促す「出会う・ふれ合う」で、対話的な学びを土台とし、更に新しいタイプの教材で「教材との対話的学び」ができる工夫がされている。</p> <p>○授業の流れや、児童の思考の過程が重視され、多様な指導方法に適した対応がされている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して、道徳性を育成する工夫></p> <p>○各教科等との関連を図る「つながる・広がる」が配置され、各教科等と関連ができるよう工夫されている。教科横断的な視点が重視され、道徳性を育成する工夫がなされている。</p>
	資 料	<p>○読み物教材に付属する「つながる・広がる」、調べ学習にも対応した付録「つながる広がる」があり、各教科等への関連や家庭生活・地域生活への活用を図る内容がある。</p> <p>○「学習の振り返り」では、「夏休み」「冬休み」「春休み」の前に大きくりの振り返りができるようになっている。また、道徳教育全体にも対応できる「なりたい自分」「学年の終わりに1年間をまとめて見つけ直すコーナー」がある。</p>
	表記・表現	<p>○すべての読み物教材のタイトルに内容項目を提示している。児童は、学習のテーマとして捉えることができ、教師にとっては道徳的価値へ方向づけることができる。</p> <p>○ユニバーサルデザインに対応し、文字は太めの教科書体、囲みやイラスト、配色等配慮がなされている。言葉のまとまりをとらえやすくするために、改行の位置にも工夫が見られる。A B版で、行間が広く読みやすい工夫がされている。</p>
総 括	<p>○生きて働く道徳性を育てるために「問題解決的な学習に対応した教材」「いじめをしない、許さない心」を育てる教材、「人との関わりの中で考えることができる学習ページ」など様々な教材が配置され、工夫が見られた。</p> <p>○児童の心を揺さぶる感動的な教材や、身近な話題で共感を呼ぶ教材が配置されている。</p>	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名	
	かがやけみらい 小学校 道徳 (学校図書)	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標との関わり		<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○内容項目が冒頭に明示されている。○分冊「活動」は、発問と書き込み欄が設けられ、学習の記録を残すことができるようになっている。児童の心の変容や学習の深まりを見取ることに活用できる。○特設ページとして道徳的価値について迫る焦点化した発問も掲載している。 <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○教材文「読みもの」と書き込みや体験的学習を促す「活動」の2分冊構成により自己の生き方への考えを深めるための工夫となっている。 <p><道徳性を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○問題解決的な学習、体験的な学習など、多様な学習形態を取り入れている。色んな学習活動を通して、児童が自ら考え、対話を通して考えを深めることができるよう工夫されている。また、『わたしたちの道徳』から教材を継続し、心に響く文学作品教材の充実という点でも工夫されている。
特色	特 内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○児童の身近にひそむ危険や、自然災害に関する教材を掲載し、防災・減災に関わる知識や、実践的な能力・態度を養う教材が取り上げられている。○多様な人々への理解を深め、共生・共助の精神を育む教材が掲載され、相手の立場に立って互いに尊重し合う心と態度を養う教材が取り上げられている。○キャリア教育、伝統文化・国際教育、情報モラル教育に関する教材が掲載されている。○オリンピック・パラリンピック関連の読み物コラムが掲載されている。○いじめ問題について、児童が様々な学びの中で気づきや実感をひとつひとつ積み上げられるよう内容項目が配置されている。 <p><発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○4つのつながり「命」「文化」「人」「夢」をもとに、学校の教育活動全体を通じた調和的な学びが展開できるよう工夫されている。○各学年各学期で4つの視点をバランスよく学べるように配慮して教材が配列されている。○学びを深める別冊「活動」が編集されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○問題解決的な学習、体験的な学習など、様々な学習活動を通して、児童が自ら考え、対話を通して考えを深められるように工夫されている。○児童自身が課題意識を持てるように「読み物」では人物の行動や気持ちに共感したり、自分との関わりを考えたりできるようになっている。「活動」では、多面的・多角的に考えを持てるよう様々な活動を設定している。意見を交換し合ったり、書いたり、実際に演技してみたりすることで、児童の考えを広げ、深めることができるように構成されている。○自らを振り返り、見つめ直す発問「みつめよう」を通して、道徳的価値に迫り、今後にかかす態度を養うことができる
	資 料	<ul style="list-style-type: none">○全学年「読みもの」「活動」には「コラム」が掲載され、各内容項目の指導の一助となっている。○「活動」は、内容項目ごとにまとめられているため、学んだ教材のつながりを意識することができる。
	表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none">○中心発問、後段の発問、問題解決的な学習、体験的な学習、道徳的価値に迫る活動を示す発問、多面的・多角的な言語活動が可能な発問等がマークで示されており、多様な学びに対応している。○ユニバーサルデザインの観点から全ページ、配色とデザインに十分な配慮がされている。○偶数ページごとに教材がまとめられ、見やすく、教科書を開きやすい。○文字の配置が統一されていて分かりやすい。
総 括	<ul style="list-style-type: none">○「活動」の中に記録を書き込む工夫があり、児童が成長を実感することができる。教師は、毎学期ごとに行う評価に必要なポートフォリオにも活用できる。	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

書名		小学道徳 はばたこう明日へ (教育出版)
項目		
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標との関わり		<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○道徳的価値の理解を深めるための工夫として、冒頭で学習のねらいを提示して問題解決的な学習を展開できるようにしている。○「学びの手引き」や「ジャンプ」では、従来型、課題解決的、主体的・対話的で深い学びの展開方法など考察がしやすい配慮がなされ、複数の発問から取捨選択できる。 <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○巻頭の「道徳開き」、巻末の「学習の振り返り」欄を設け、1年間の学び方を明確にし、自己の生き方を振り返ることができるように工夫されている。○「スキル」学習が進められるように、「やってみよう」コーナーを掲載している。○偉人やスポーツ選手を取り上げ、「人に学ぶ」姿勢で自己の生き方を考える工夫がなされている。 <p><道徳性を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○道徳的諸価値を、実体験を通して理解し、行動化を図るためのモラルスキルトレーニングを全学年に取り入れ、道徳的な習慣や行動が身につけられるようにしている。○全学年、巻末に「振り返り」の欄があり、1年間の心の変容を確認できる。
	特 内 容	
色	資 料	<ul style="list-style-type: none">○実践例豊富な教材が多数掲載され、さらに標準時数に加えた補充教材も掲載されている。○フェルトや人形、漫画、紙芝居等を挿絵として掲載し、親しみやすい工夫をしている。
	表 記・ 表 現	<ul style="list-style-type: none">○ユニバーサルデザインを意識した、マークによる4つの視点の分類、多様な色覚の児童に配慮した配色・デザインの工夫がされている。○1年生では、分かち書き、文節改行をしている。漢字は、教材ごと初出にルビがあり、当該学年以上の漢字にも、教材ごと初出にルビがある。難解な言葉や必要な情報は、脚注で解説している。○AB版で、紙面の横幅が広がっている。
総 括		<ul style="list-style-type: none">○導入一学びの手引きージャンプで、一連の学び方を示すことで深く考えさせる工夫がされている。○ユニバーサルデザインによる紙面構成がされ、全ての児童が学びやすい工夫がなされている。(レイアウト、配色、デザイン、マーク等)○内容項目ごとに導入時の投げかけを設け、学習のねらいを明確に把握させることで問題解決的な学習を展開できるようにしている。○「ジャンプ」欄で、児童に役割演技をさせたり、主人公の立場に立って考えさせたりすることで、道徳的価値の理解を深めることを目指している。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 道徳 きみが いちばん ひかるとき (光村図書)
教育基本法、 学校教育法の 下の小学校学 習指導要領の教 科の目標との関 わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫> ○道徳的価値を自分や日々の生活に結び付ける発問や、道徳的な価値そのものについてを問うようなテーマ的な発問を配しており、明確で分かりやすい発問の工夫がされている。また、学習のまとまりごと(1年間に4か所、1年生は3か所)に「学びの記録」を設け、書くことで道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫をしている。(1・2年生は、マークに色付けをする。)</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫> ○各教材末に学習のてびき「考えよう」「つなげよう」が設けられ、自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するために話し合ったりすることや、他の学習や生活の中で考えてほしいことなど、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて置かれている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○自立した人間として他者によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成するために、年間を四つの「学習のまとまり」に分け、学びの深まりとつながりを意識した内容項目の配列に工夫がみられる。 ○「学習のまとまり」ごとに、自分や他者の考えや行動を振り返り、変化や成長を記録できる「学びの記録」が位置付けられており、道徳性を育成するための工夫がみられる。</p>
特 色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○現代的な課題の取り上げ方と、その解決に向けて考え続ける意欲や態度を育てるために、「情報モラル」「いじめ問題」「環境」「国際理解」「福祉・共生」の五つのテーマを取り上げそれぞれコラムとして配されている。 ○問題意識を持って多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりする工夫として、教材とコラムをユニットにし、道徳の時間以外に扱うことで考えが深められる。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○発達段階に即し、ねらいを達成する上で、内容や分量、世界の広がりが見られる。また学年ごとに重点項目を変え、確かな学習体験となるよう配慮されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○主体的に考え、話し合うことが道徳の授業であることを児童に示す「道徳の時間は」を設け、他にも漫画形式の教材、一枚絵から考える教材、複数の資料と併せて考えられる教材を配しており、考える道徳・議論する道徳の具現化に効果的な役割をしている。 ○「命」の大切さを意識できるように同一作者によって生命の尊さや不思議さについての教材を、全学年を通して配している。 ○全学年の付録に円滑なコミュニケーションをとるための「こつ」が示されている。</p>
	<p>○「学びの記録」の位置付けにより、児童が自己評価できるようになっていたり、教材と関連した本(話)を紹介していたりして、学習意欲を喚起する工夫がみられる。</p>
	<p>○第1学年は文節分かち書きと平仮名表記、第2学年では3文節程度の分かち書き、当該学年の配当漢字に全て振り仮名が付されており、全学年を通して読みの負担を軽減するための配慮がなされている。 ○教材内容の理解を助け、イメージを広げる挿絵・写真が随所に配され、また読み物教材の他にも、漫画形式の教材や見開きの一枚絵などから考える教材が位置付けられ、効果的な活用が期待される。 ○文字の大きさや配置、写真や挿絵の色遣いや配置の他、枠組みを使ったデザイン処理などユニバーサルデザインの観点からみても十分な配慮がなされている。</p>
総括	<p>○問題意識をもち多様に考えることができる教材、深く考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材、よりよく生きる喜びや勇気、感動を与えられる教材など、教材の特質が明瞭であり、道徳性を構成する諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養うための教材をバランスよく掲載している。</p>

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 小学道徳 生きる力 (日本文教出版)
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標との関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○道徳的価値に関するすべての内容項目を扱いつつ、重点とすべき内容項目については複数の教材を取り上げている。道徳教育における現代的な課題を重視し、生命の尊重、自他の敬愛、郷土愛、国際理解などに関わる教材を重点的に取り上げている。また別冊として「道徳ノート」があり、記録することで道徳的諸価値についての理解をさらに深めることができる。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <p>○各教材末に自己を振り返る発問「考えてみよう」が設けられ、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて置かれている。「見つめよう・生かそう」や教材とは異なった角度から問題を考える「心のベンチ」が示されている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○児童の思考の流れに沿った発問を設定し、自発的な思考を引き出そうと工夫している。(①導入のための発問例の掲載②教材のねらいに迫るヒントとなる発問例「考えてみよう」の掲載③学習を通して学んだこと、分かったことを自発的に確かめ、これからの児童自身の生き方に生かしていくための発問例「見つめよう・生かそう」の掲載)</p>
特 色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「いじめの防止」「安全の確保」「情報モラル」「社会の持続可能な発展」をテーマに、複数の教材を配置(ユニット)することで学級の状況に応じた授業を展開できるように工夫されている。特に「いじめの防止」に関する教材は全学年にわたって多く配され、最重要課題として扱われている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○児童の発達段階を考慮した内容であり、1年間、及び6年間を通した系統性を配慮しているとともに、「保・幼、小」の連携、中学校段階との接続にも配慮している。</p> <p>○学年ごとに、児童や学級の実情を踏まえ、1学期には学級づくりや学校生活・集団生活の充実(低学年)、オリエンテーションやよりよい人間関係の形成(3～6年)、3学期には振り返り、進化、発展を意識した内容項目や教材が配置されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「学習の手引き」が設定された教材では、考え、議論する道徳の進め方を明示している。</p> <p>○巻頭オリエンテーションページの「道徳のとびら」で学習内容やそのねらいなどが記されており、「道徳の学び方」では学習の方法を解説し、学習の支援になるように配慮している。学習方法は①気づく②考える・深める③見つめる・生かすと提示され、特に②の考える・深めるでは話し合い活動を具体的に写真で提示していて、「考える道徳」「議論する道徳」が視覚的にとらえられるように工夫している。</p>
資 料	<p>○別冊として「道徳ノート」があり、自分の考えのみならず、友達の考えや保護者の思いを記入することができる。また児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、指導や評価の参考にすることができる。</p> <p>○標準教材に加え、ふろくとしての補助教材を取り入れ、ものの見方や考え方が深められるように工夫している。</p>
表 記・ 表 現	<p>○漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字やキーワード・固有名詞等の漢字にはすべてにふりがなをつけ、読みの抵抗を少なくするよう配慮している。</p> <p>○頭注欄を活用し、やや難解な語句や、教材の読み取りのために必要な補足説明を丁寧に解説している。</p>
総 括	<p>○「道徳ノート」には学習内容が書き込み、指導や評価の参考になるとともに、保護者欄を設け、保護者との連携を図るようにしている。「心のベンチ」では、人間関係づくり、ソーシャルスキル体験を通して、自分の考えを広げたり、道徳的価値の理解を深めたりできるようにしている。漫画やアニメ風の挿絵・大きな写真が掲載され実在する著名人を題材とする教材を取り上げている。</p>

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 小学道徳 ゆたかな心 (光文書院)
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標との関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○各教材の冒頭に主題と導入時の問いを提示し、1時間の授業の流れを明確にしている。展開時には、主題に迫る問いや大切な見方を示し、「まとめる・広げる」では授業後の広がりまで視野に入れている。 <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○巻頭のオリエンテーションで児童が主体的に学ぶことができるようにし、学校・家庭・地域などの日常生活に生かすための提案をしている。日本・世界の偉人やオリンピック選手などの功労者を取り上げ、生き方に触れる時間を通し、自らの考え方や生き方を振り返り、目標を見つけることができるような工夫がある。 <p><道徳性を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○巻末「学びの足あと」を活用して振り返りを行うことで、その時間に学んだ道徳的諸価値を補充・深化・統合することができるようにしている。
特	内 容
色	資 料
総 括	表記・表現

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 みんなの道徳 (学研教育みらい)
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標との関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○教材の始めに主題名を示さないことで、特定の価値観を押しつけることなく、児童の問題意識から課題を見つけ、解決する過程を通して価値に迫ろうとしている。○全学年共通の最重点テーマを「いのちの教育」(生命の尊重)とし、それに関わる3教材を連続して配置し、価値の補充・深化・統合をねらっている。 <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○巻頭の手引きで自己を見つめるページ、巻末の「こころの宝物」で心に残った話を記録するページを作り、1年間の自己の成長がわかるようにしている。○教材によって吹き出しや空欄があり、自分の考えを書くことができる。○先人だけでなく、近年のオリンピック・パラリンピックで活躍した選手など身近な人物を取り上げ、生き方や考え方を知ることができるようにしている。 <p><道徳性を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○教材によって学び方のページ(「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」)を設定し、発展的な活動やその教材に関する資料を載せている。特に、「やってみよう」では学習したことを実践する体験的な学習活動を取り入れている。
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○全学年の最重点テーマを「いのちの教育」とし、いじめについて直接的・間接的に取り上げ、身近な問題としていじめ防止につながるようにしている。他にも、「キャリア教育」「国際理解教育」等の現代的課題に関連した内容を多く扱っている。○全学年で情報モラルに関する教材を扱っている。6年生ではスマートフォンを実際の画面のように示し、児童の実生活を想定した内容になっている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○最重要テーマを受け、1・2年生は「しっかり生きる」、3・4年生は「仲よく生きる」、5・6年生は「よりよく生きる」を重点テーマとして設定し、それに関わる2教材を連続して配置している。○1・2年生では、動植物を擬人化した教材が多く使用され、学年が上がるにつれて実在した人物や実話をもとにした内容が増えている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○巻頭の「道徳の学習が始まるよ」で、発達段階を考慮しながら、考えたり話し合ったりする学習の流れが示されている。○教材の始めに主題名を示さないことで特定の価値観を押し付けないようにし、児童自ら問題意識を持たせ、学習を進められるようにしている。○「やってみよう」で役割演技をしたり、話し合ったりする活動を設定している。○教材によって2つの資料を対比的に示したり異なる複数の意見を示したりし、自分だったらどうするか主体的に考え、話し合えるようにしている。
資料	<ul style="list-style-type: none">○A4判にし、挿絵や写真を大きく豊富に載せられるようにしている。また、巻頭は見開き一面、いのちの教育に関わる教材の始めには一面の写真が詩とともに載っている。○詩、ポスターの写真、伝記、漫画形式など、様々な形式の教材を掲載している。○ユニバーサルデザインに配慮した文字やカラーにしている。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none">○2年生の途中までは分かち書き、文節改行で書かれている。また、1～6年生で、前学年までの配当漢字以外の漢字には全て読み仮名がふられている。○難しい語句は必要な情報を脚注で解説している。○教材ごとに学習指導要領の内容項目を受け、4つの視点をマークで示している。巻頭の目次や教材の始めに色別で記されている。
総括	<ul style="list-style-type: none">○あえて主題名を記載せず、児童の問題意識を大切に構成・展開にし、問題解決的な学習を促している。また、学び方のページ(「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」)で、話し合い活動を設定したり資料を載せたりすることで学習後の日常生活への広がりを持たせ、より一層の道徳性の育成を図ろうとしている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
種目(教科等)【 道徳 】

項目	書名 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 (廣済堂あかつき)
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標との関わり	<p><道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○教材と別冊の「道徳ノート」の2冊構成となっている。道徳ノートでは、道徳的価値を明確にするために、内容項目別に構成されていて、内容項目の最初のページに道徳的価値についての解説を記載している。</p> <p><自己の生き方への考えを深めさせる工夫></p> <p>○「道徳ノート」では、巻頭で自分のことを記載したり、問いが価値に応じた自己への問いになっていたりして、自己を見つめ自己の生き方について考えを深めるようになっている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○全学年に教材ごとに、「考えよう、話し合おう」を設置して学習の道筋を示し児童の主体的、対話的で深い学びを促し、学習を広げる工夫をしている。</p> <p>○「道徳ノート」では、授業で感じたことや考えたことを記述する欄があり、振り返ることで、児童が自分の成長を感じたり次の課題や目標を見つけたり意識したりすることができるようになっている。</p>
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「生命の尊さ」を重点項目とし、全学年3教材3時間の配当をしている。教材の内容によっては、2時間連続で構成し思いが深まるようにしている。(1, 2, 3, 5年)</p> <p>○「いじめ」に関する教材は、全学年に複数掲載してある。今日の児童にとっては、切迫した課題であるため、「公正」「友情」「思いやり」など様々な道徳的価値として人権尊重やいじめ防止につながるように教材を配している。</p> <p>○中・高学年では情報モラル、安全の教材を重視し、特集ページを設けている。</p> <p>○現代的課題を重視し、3年生以上は全教材の半分を占めている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○「節度、節制」の内容項目を低学年で重視して3時間を配し、また他学年でも学級作りを考え、進級後の早い段階で学べるようになっている。</p> <p>○高学年では、あこがれのスポーツ選手を多数題材にし、補足説明を加えてより現実的に生きる喜びや勇気を感じられるようになっている。</p> <p>○低学年の教材は、動物を登場人物とした物語教材を多くとりあげ、挿絵を積極的に掲載することで、視覚的に内容理解を促している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○各教材に「考えよう、話し合おう」を設け、「問題解決的な学習」と「自己を振り返り将来に生かす学習」の発問で、児童が思考を深められるような工夫をしている。(低学年の発問は2つ、中学年からは3, 4つ)</p> <p>○中・高学年では、「学習の道すじ」に道徳的価値を明記し、発問を手掛かりとして、活発な話し合い活動や多角的な思考を促すようにしている。</p> <p>○巻頭に道徳の学び方を紹介するページや学年にあった詩が掲載されていて、児童が1時間のイメージを持って学習ができるようになっている。</p>
資料	<p>○「道徳ノート」がついていて、自己について考え振り返って記述できるようになっている。</p> <p>○「道徳ノート」には「心のしおり」がついていて家庭と連携できるようになっている。</p> <p>○「学習を広げる」では、教材に出てきた人物の紹介や関連した本が紹介されている。</p> <p>○「道徳ノート」は、教科書に差し込めるようになっている。</p>
表記・表現	<p>○当該学年の配当漢字を含む未習の漢字には、全てにふりがなを配してある。</p> <p>○内容項目の題名に色をつけ、どの内容かわかるようになっている。</p>
総括	<p>○「生命尊重」に重点をおいている。</p> <p>○教材・「道徳ノート」の2冊構成になっていて書くことで自分自身を振り返られる。</p> <p>○「考えよう・話し合おう」で学習の道筋を示し、活発な話し合い活動を促している。</p>